

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト



Breakthrough Journey

Dance Camp+

BiG-i 夏のワークショップシリーズ 第2弾!!

2024

8.10(土) ▶ 8.12(月・休日)

国際障害者交流センター ビッグ・アイ 多目的ホール

情報サポート: 手話通訳(日本語) 日英逐次通訳

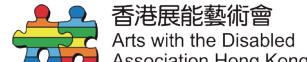
参加者
募集

主催: 国際障害者交流センター ビッグ・アイ、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

連携: 大阪府

後援: 公益財団法人大阪観光局、公益社団法人堺観光コンベンション協会、独立行政法人国際交流基金

協力: Arts with the Disabled Association Hong Kong、Dua Space Dance Theatre、Ping Chong and Company



プログラム① 日時：8月10日(土) 10:00-12:00

マレーシア コンテンポラリー

Dua Space Dance Theatre ダンス・ワークショップ



講師

Aman Yap (アマン・ヤップ)

Dua Space Dance Theatre (デュア・スペース・ダンス・シアター) 代表、演出家、ダンサー。香港舞台芸術アカデミーダンス専攻卒業。香港シティ・コンテンポラリー・ダンス・カンパニー、ナイニ・チェン・ダンス・カンパニー、米国ニューヨークのGGDダンス・カンパニーの元プロダンサー。世界25カ国、62都市をツアーし、2003年イスタナ・ブダヤ「マレーシアで最も優れた男性振付家10人」に選ばれる。優れた身体の動きと華麗な流れのあるダンスに定評があり、最近ではマレーシアの障がい者のダンス活動の普及、振付を行っている。



Kenny Leow (ケニー・レオ)

2008年、Dua Space Dance Theatreに入団。現在は、シニア・ダンサー兼アシスタント・アーティストティック・ディレクターとして、カンパニーのトレーニングや公演企画に携わっている。卓越したダンス技術と多彩な表現は人々に驚きを与え、ウィットに富んだ振付を得意としている。障がいのあるダンサーへの指導経験も豊富である。

ダンスサポート

Nerosha Krishnan
(ネロシャ・クリシュナ)

プログラム② 日時：8月10日(土) 13:30-15:30

日本 ストリートダンス

YOZIGENZ — ヨジゲنز ダンス・ワークショップ



講師

Shunji (シュンジ)

ヨジゲنز代表。ダンスと障がい者を繋げる事を目的とした「日本アダブテッドブレیکن協会」代表理事。スレッドと呼ばれるレアテクニックを世界トップレベルにこなし、国境、ジャンル、業界に縛られず縦横無尽な活動範囲で、世界で活躍する。世界レベルのブレイクダンスチームMORTAL COMBATのメンバーとして培った経験を生かしレアダンサーと世の中を結ぶ活動をしている。

プログラム③ 日時：8月11日(日・祝) 10:00-12:00

香港 コンテンポラリー

Mary Jane Tang ダンス・ワークショップ



講師

Mary Jane Tang (メアリー・ジェーン・タン)

米国ニューハンプシャー州プリマス州立大学にてダンス&シアター・パフォーマンス学士号、幼稚園教諭免許を取得。またヨガインストラクターの資格も持ち、幼児から高齢者までを対象に、呼吸、静寂、ダンス表現とともに、日常の動きを通して個々の身体意識を再認識するための創造的なダンス開発、ダンスコンポジション、ソマティックを専門としている。

プログラム④ 日時：8月11日(日・祝) 13:30-15:30

韓国×日本 コンテンポラリー

Kim Wonyoung with 森田かずよ ダンス・ワークショップ



講師

Kim Wonyoung (キム・ウォニョン)

ダンサー、作家。大学で社会学と法学を学び、卒業後は、弁護士として韓国の国家人権委員会などで働く。これまでに『Love and Friendship Equality Act』『Becoming-Dancer』『Rolling together』などの数多くの公演や映像作品に出演。著書に『希望ではなく欲望一閉じ込められていた世界を飛び出す』、『だれも私たちに「失格の烙印」を押すことはできない』、『サイボーグになる—テクノロジーと障害、わたしたちの不完全さについて』がある。



森田かずよ (もりた・かずよ)

俳優・ダンサー。先天性の障がいを持って生まれ、18歳より表現の世界へ。自分の身体と向き合い、表現の可能性を日々楽しく考えながら活動。日本財団・ユネスコ主催『TRUE COLOURS アジア太平洋障害者芸術祭』(シンガポール) 出演。メディアアーティストRichard Butchinsと共同製作した作品は『アンリミテッドフェスティバル』(イギリス) で公開された。『東京2020パラリンピック競技大会開会式』に出演。近年は障がい者ダンス公演の演出、ワークショップ講師なども行う。

大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2024 [創造のコース]

田畑真希 ダンス・ワークショップ 主催：大阪府



撮影：松本和幸

講師

田畑真希 (たばた・まさき)

振付家、ダンサー。タバマ企画主宰。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧に時間を紡ぐ作風には定評があり、7カ国18都市にて作品を上演し好評を得る。近年は様々な世代を対象としたワークショップや、見えない、見えづらい方々とのワークショップや作品創作なども展開中。性別、年齢、国籍、障がいの有無などの差異を超えて、誰もが楽しみながら出来る身体表現の促進をめざす。

指導者・支援者に向けた Ping Chong and Company (ピンチョン・アンド・カンパニー) シアターワークショップ

演劇は、舞台芸術の枠を超えて、人生のスキルとして、社会やコミュニティの中で大きな意味を持っています。今回、ニューヨークから演劇教育の専門家を特別に招き、演劇的なスキルを用いたワークショップを開催します。自分自身や他者を探究、発見し、他者との関わり(コミュニケーション)などを楽しみながら学ぶプログラムです。

講師



Photo by Adam Nadel

Sara Zatz
(サラ・ザッツ)

Ping Chong and Companyのアソシエイト・ディレクター、アーティストック・リーダーシップ・チームのメンバーとして、コミュニティ・エンゲージメント・プログラムを率いる。2002年から幅広いパートナーと協力し、アーティストや地域住民のための芸術教育やトレーニングを監督。近年は、ニューヨークの10代の若者や、慢性疾患と障がいに焦点を当てたプロジェクトや舞台作品などを手掛けている。多くの会議や大学で、コミュニティ参加型演劇に関する講演やワークショップを行う。



Christopher Imbrosciano
(クリストファー・インブロシアーノ)

俳優、Ping Chong and Companyのティーチングアーティスト*で、障がい者の支援も行う。ロンドンのドンマー・ウェアハウスでの『Teddy Ferrara』でウェストエンド・デビューを果たし、スコットランド国立劇場の『My Left/Right Foot-The Musical』など、世界中の舞台で活躍中。ケネディ・センターとリンカーン・センターでの『Inside/Out...Voices from the Disability Community』では、同カンパニーと共に出演。初等教育の学士号を持ち、子どものための創作劇を専門としている。



デブラー森永明日夏
(デブラー・もりなが・あすか)

俳優、Ping Chong and Companyのティーチングアーティスト*。桐朋学園芸術短期大学演劇科専攻、俳優座出身。文化庁在外派遣研修生としてHB STUDIOにて2年間研修。ニューヨークの舞台で活動しながら、アメリカ、日本で様々な演劇教育のプログラムに関わっている。

専門コミュニケーター



阪本洋三
(さかもと・ひろみ)

文化事業プロデューサー、演出家。NHKドラマ・ディレクターを経て、ニューヨークで国際的な文化事業を制作するNPOを15年以上に渡り主宰。2014年度より近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授。演出家Ping Chong氏とも数作の共作・共同演出作品がある。

*ティーチング・アーティスト：

専門の芸術の訓練をうけ活動し、その経験・知識を生かし、教育現場に関わっているアーティストの事。

大阪府障がい者 舞台芸術オープンカレッジ2024

創造のコース

田畑真希

MAKI TABATA
DANCE WORKSHOP

ダンス・ワークショップ

振付家、ダンサーとして国内外で活躍する田畑真希を講師に迎え、
ダンス・ワークショップを開催します。

2024年

8月12日(月・休日)

午前10時～午前12時

国際障害者交流センター ビッグ・アイ 多目的ホール

定員：20名 要事前申込(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料

応募締切：7月10日(水) 必着

情報サポート：  手話通訳(日本語)

主催：大阪府

実施主体：国際障害者交流センター ビッグ・アイ

令和6年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト連携事業



応募方法

黒のボールペンで必要事項をご記入のうえ、下記あてに、郵送またはFAX、Eメールにてお申込みください。
応募フォームからもご応募いただけます。右記QRコードを読み取ってご利用ください。
応募多数の場合は抽選となります。抽選結果は7月中旬頃を目途に郵送にてお知らせします。

応募フォーム



応募・問合せ先：国際障害者交流センター ビッグ・アイ「ダンスキャンプ」係

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台 1-8-1

TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール dancedrama@big-i.jp

※お電話でのお問合せは土日祝を除く10:00～17:00

応募締切
7月10日(水) 必着

希望するプログラム	参加を希望するプログラムを選択してください。 複数選択可 <input type="checkbox"/> プログラム① <input type="checkbox"/> プログラム② <input type="checkbox"/> プログラム③ <input type="checkbox"/> プログラム④ <input type="checkbox"/> プログラム⑤ <input type="checkbox"/> プログラム⑥(特別プログラム)			
フリガナ				
氏名		年齢	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
		歳		
障がいについて	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	※「あり」の方は、どのような障がいがあるかご記入ください。		
フリガナ				
住所	〒 ー			
TEL	() ー	FAX	() ー	
Eメール	緊急連絡先		日中につながる電話番号、勤務先番号、メールアドレス	
プログラム①②③④⑤を選択した方		プログラム⑥を選択した方		
ダンスの経験年数、ジャンル、過去の出演・受賞など：		指導又は表現活動の年数・ジャンル(学生の場合、学校名・専攻)など： 例) 学校で5年間芸術を指導、市民劇団で俳優活動5年、 障がい者の芸術活動支援10年		
応募動機				
駐車場利用	<input type="checkbox"/> 利用する <input type="checkbox"/> 利用しない			
該当する項目	<input type="checkbox"/> 手話通訳(日本語)を希望 <input type="checkbox"/> 補助犬の同伴 <input type="checkbox"/> 車いすの利用 <input type="checkbox"/> 日英逐次通訳を希望			
特記事項	(例) 体温調整ができないため、運動の際にはときどき休憩が必要			
介助(介護)者	※介助(介護)者を伴う場合は、介助(介護)者の氏名・住所・TEL・FAX・本人との関係をご記入ください。			

BiG-i 夏のワークショップシリーズ第2弾!!

今年の夏も国際障害者交流センター ビッグ・アイ を舞台に「Breakthrough Journey Dance Camp +」を開催します。
国際的に活躍するアーティストたちによるダンス・ワークショップを3日間にわたり、開催。また、特別プログラム（プラス+企画）として、Ping Chong and Companyによる指導者、支援者に向けたシアターエデュケーションワークショップを開催します。

表現に“DIVE (ダイブ)”する夏

ダンスに初めて触れる人、より深く楽しみたい人、指導方法を学びたい人など、障がいの有無や経験、国籍などに関係なく、誰もが参加できる多彩なプログラムを用意しました。
国際的に活躍するアーティスト・表現者たちから、振り付け、動き、新たな身体表現を学び、「表現すること」や「身体コミュニケーション」について考えます。
この機会に、新しい表現の可能性に出会い、それぞれの新しい活動につなげるのもいいですね。

日程 2024年8月10日(土)～12日(月・休日)

会場 国際障害者交流センター ビッグ・アイ 多目的ホール

定員 各プログラム20名 要事前申込(応募者多数の場合は抽選)

参加費 無料

応募締切 7月10日(水) 必着

対象 ●プログラム①②③④⑤

障がいの有無・ダンス経験不問(未就学児不可)、ダンスに興味関心がある方

●プログラム⑥(特別プログラム)



障がいの有無不問。高校生以上の方で、教育、福祉、芸術等の表現活動の現場に関わる方、ワークショップ作りや演劇教育を実践的に学びたい方
(学校の先生、学生、アーティスト・俳優、福祉施設や劇場・音楽堂等に勤務する方など)

参加条件 ●介助(介護)が必要な場合は、介助(介護)者の同伴がご自身で手配可能なこと。

●未成年の場合は、保護者の同意が得られること。

●写真・動画の撮影、また撮影した写真・動画について、ビッグ・アイや関係機関の広報活動での使用を了承できること。

●応募・参加にかかる費用を自己負担できること。

情報サポート:  手話通訳(日本語)  日英逐次通訳

参加者へのお願い

- ・当日は、記録広報用に写真及びビデオ撮影を行います。また報道機関等による写真やビデオ撮影が行われる場合があります。ご了承ください。
- ・天災地変等の理由により、やむを得ず、イベントの全部又は一部を中止・内容を一部変更することがあります。ウェブサイト等で最新情報をご確認ください。

Breakthrough Journey 公式SNS

X



Facebook



Instagram



日本博2.0
公式ウェブサイト



アクセス

国際障害者交流センター ビッグ・アイ

〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅から徒歩200m

